

ふるさと祭りいも煮会 報告

開催日・時間 平成25年12月1日(日) 午前10時30分～午後3時

開催場所 発達センターあつた(名古屋市熱田区神宮)

参加者数 26世帯 大人37名 子ども31名

出身地 宮城県3世帯、岩手県1世帯、埼玉県1世帯、福島県福島市5世帯、いわき市2世帯、伊達市1世帯、郡山市1世帯、南相馬市5世帯、不明～ハギトモコ氏、セキネマナミ氏 他5世帯

現住所 豊川市1世帯、清州市1世帯、豊田市1世帯、東海市1世帯、春日井市1世帯、弥富市1世帯、みよし市1世帯、小牧市2世帯、名古屋市緑区4世帯、南区3世帯、昭和区3世帯、東区1世帯、天白区1世帯、熱田区1世帯、中川区1世帯、港区1世帯、不明～2世帯

一日の流れ

受付 午前10時～

総合司会；安藤 典明

始りの集い 午前10時30分～

【発達センターあつた】

もちつき～ 子ども達 体験しよう！！

いも煮会スタート お好きなお店にどうぞ

子どもあそびコーナーでは学生らとあそんでね。

大人には、お酒やビールもあり。(実費負担)

(弁護士ら専門家による法律の個別相談、福島からの避難者によるワンコインマッサージ)

ステージ企画

ママアンドティ

南相馬 UNITED

YUMI+バンブーストーン

社会館バンド

本多正典リハカッション出演とみんなでリズム

サンタ登場、子ども達へプレゼント

終わりの集い 14時45分～

終了 15時

内容・成果 めぐりあいの会の三役が、前日の準備とともに、当日朝早くから準備、受入れスタッフ全員に手づくりのラーメンをふるまって、この日はスタート。開会式の後には、模擬店の手づくりの食べ物を味わい、バザー品で買い物をしたりして交流を深めました。舞台では、春の花見会に次いで、県外避難者自らのバンド演奏で盛り上がり、プロのパーカッショニストの太鼓リズムに合わせて、踊ったり、一緒に太鼓を叩いたりして楽しみました。子どもたちは、学生ボランティアとともに くじや輪投げ、ふわふわなどで遊んだりと一日楽しく過ごしました。最後は、3人のサンタが登場、子ども達へのプレゼントで終わりました。避難者自身が主催する交流会ということがすっかり定着した感じで、常連組みの皆さんは、大いに交流を深めた事でした。一方で、始めて参加された皆さんがどれだけ楽しく過ごせたかという点は気になるところです。恒例となってきたワンコインマッサージも大好評でした。

今後の課題と対応

震災・原発事故による県外避難者自主グループめぐりあいの会の発足の契機となったこの交流会ですが、主催者がみずから紡ぐ交流会として準備から片付けまで、みんなが力を合わせて行われ、お客様として参加していた昨年とは段違いの様相を呈する交流会となりました。今回も、始めて参加したという方がおられ、県外避難者が減ったり増えたりしていることを感じました。ずっと続けて参加されている方は、今後の生活の目処、特に借り上げ住宅制度は継続されるのかといった不安な意見も出ていました。先の見通しがたたない現状のなか、明るく前向きに今、そしてこれからの生活を考え、たくましく生きて行こうとされているケースはホッとさせられるのですが、話をするメンバーもいないのか、ポツンとしている家族への配慮をもっとしないといけないなと感じました。避難者自らが行うワンコインマッサージでも利用されれば、少しは話ができると思われるのですが、その一歩も踏み出せない方がいました。今後も交流会を実施することで、引きこもりがちな家族が一歩出てもらうこと、その方々が親睦と交流を深めてもらえるような丁寧な対応、その工夫をすすめなければと思います。